

2022年3月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) キューバ共産党県大会の開催
- (2) 7月11日の大規模デモ参加者に対する裁判結果の公表

2 外交

- (1) ウクライナ情勢に関する国連総会の緊急特別会合開催
- (2) 在キューバ米国大使館による部分的な査証業務再開
- (3) ロドリゲス外相のチリ訪問（チリ大統領就任式出席）
- (4) アナヤンシ・ロドリゲス外務次官の「第2回アンタルヤ外交フォーラム」出席 (5)

キューバ・中国共産党間理論学会の開催

- (6) ジョレンティ米州ボリバル同盟人民貿易協定事務局長のキューバ訪問
- (7) キューバ・仏外務省間政策対話の実施
- (8) 7月11日デモに関するEU上級代表声明に対するロドリゲス外相反応

3 経済

- (1) ディアスカネル大統領とシェリット・インターナショナル社（カナダ）との会談
- (2) ディアスカネル大統領、国内の主要な国営企業幹部を招集
- (3) キューバ経済の現状及び見通しにつき閣僚評議会で議論

4 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※3月31日時点、保健省発表）
- (2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合（※4月3日時点、保健省発表）

【本文】

1 内政

- (1) キューバ共産党県大会の開催

11日にピナール・デル・リオ県、17日にビジャ・クララ県及びシエンフエゴス県、24日にマタンサス県で、ディアスカネル大統領（共産党第一書記）の出席のもと、各県の共産党大会が開催された。各大会では、2021年4月に開催された第8回共産党大会の理念、概念及び指針に基づき、各県における経済活動、イデオロギー闘争、党内機能における課題についての詳細な分析が報告された。

- (2) 昨年7月の大規模デモへの参加者に対する判決公表

16日、キューバ人民最高裁判所は声明を発表し、昨年7月にハバナ県内で発生した市民による大規模デモへの参加者に対するハバナ県人民裁判所による判決を公表。127名のデモ参加者に対し、最高で30年、最小で4年の懲役刑を宣告した。

2 外交

(1) ウクライナ情勢に関する国連総会の緊急特別会合開催

国連緊急特別総会にて、2日に採択されたロシア軍の即時撤退などを求める決議案にキューバは棄権票を投じ、ペドロソ・キューバ国連大使は投票理由説明にて、キューバは、すべての人の安全と主権を保証する、平和的手段による、真剣で建設的かつ現実的な外交的解決を引き続き提唱していく旨述べた。また、同総会にて24日に採択されたウクライナの人道状況に関する決議案に対しては棄権票を投じた。

(2) 在キューバ米国大使館による部分的な査証業務再開

3日、在キューバ米国大使館は、停止していた同大使館での査証発給業務の部分的な再開を発表したのに対し、4日、ロドリゲス外相はツイッターで「正しい方向への一歩になるだろう」と評価した。

(3) ロドリゲス外相のチリ訪問（チリ大統領就任式出席）（9～11日）

ロドリゲス外相はボリッチ大統領就任式出席のためチリを訪問し、ウレホラ新外相、ベゴニャ新保健大臣等の新政権要人と会談した。11日にはボリッチ大統領と会談を行い、ディアスカネル大統領からの祝辞を述べるとともに今後の二国間関係の進展につき確認した。

(4) アナヤンシ・ロドリゲス外務次官の「第2回アンタルヤ外交フォーラム」出席（10日～14日）

14日、ロドリゲス外務次官は、トルコで開催された第2回アンタルヤ外交フォーラム（注：幅広く外交テーマを議論するためにトルコが各国リーダーに呼びかけて開催している国際会議）に出席。同フォーラムのスピーチの中で国際平和、正義及び人権尊重等に対するキューバの立場を確認するとともに米国による対キューバ経済制裁を非難した。

(5) キューバ・中国共産党間理論学会の開催

23日～24日、キューバ共産党中央委員会国際関係局及び中共中央対外連絡部との共催でオンライン形式で行開催。ディアスカネル大統領及び習近平国家主席が開催の祝賀メッセージを発出し、両国の共産党がそれぞれの国における社会主義建設の指導的核心である旨確認した。

(6) ジョレンティ米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA-TCP）事務局長のキュー

バ訪問（１９～２３日）

２３日、ジョレンティALBA-TCP事務局長はディアスカネル大統領と会談（ロドリゲス外相同席）。特に、加盟国間での食糧増産計画が優先的課題である旨確認した他、その他の国際情勢につき議論した。

（７）キューバ・仏外務省間政策対話の実施（２４日）

２４日、ペニャルベル外務第一次官は、仏を訪問し、Francois Delattre 仏欧州・外務次官との間で政策対話を実施。同対話では、経済、商業、開発協力、投資、観光、科学、教育及び文化等の幅広い分野での二国間関係について意見交換した他、保健分野での三角協力の可能性、マルチ分野での協力について確認した。

（８）７月１１日デモに関するＥＵ上級代表声明に対するロドリゲス外相反応

３０日、ボレルＥＵ外交・安全保障上級代表が「２０２１年７月１１日及び１２日のデモに関連する裁判及び判決に関する声明」と題して、３月１６日にキューバ人民最高裁判所が公表したデモ参加者に対する判決を大きな懸念をもって受け止め、キューバ国民の市民的・政治的権利の尊重及び全ての政治犯の釈放を要請したことに対し、同３１日、ロドリゲス外相はツイッターで「適正な手続きに厳格に従って判決を下す権限を与えられているのは、欧州のいかなる当局でもなく、わが国の裁判所だけである」旨反論。

３ 経済

（１）ディアスカネル大統領とシェリット・インターナショナル社（カナダ）との会談

３日、ディアスカネル大統領は、カナダの鉱業・石油企業シェリット・インターナショナル社のビネデル社長と会談。キューバ国内の鉱山、石油探査、発電などの分野への同社の更なる進出及び生産拡大の可能性について意見交換を行った。

（２）ディアスカネル大統領、国内の主要な国営企業幹部を招集

１４日、ディアスカネル大統領は、マレーロ首相及びヒル副首相兼経済企画大臣等の政府指導部と国営企業幹部を招集し、本年損失を計上している国営企業の経営状況につき分析し、それぞれの企業が企業内に存在する最善の人材を配置する必要がある旨指摘した。ヒル副首相兼経済企画大臣によると、本年１月末時点で、調査を実施した企業の２７％に当たる４５７社が損失を計上し、そのうち国営企業は４４６社であることを明らかにした。

（３）キューバ経済の現状及び見通しにつき閣僚評議会で議論

２９日、ディアスカネル大統領は閣僚評議会を招集し、マレーロ首相をはじめとする全閣僚の出席の下、キューバ経済の現状及び見通しにつき議論。新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことによる輸出計画の達成、農業生産及び海外からの観光客の回復により、い

くつかの経済指標では改善が見られたとしつつ、2022年の経済計画を達成するためには、外資の参入拡大、国営企業の更なる活性化が不可欠である旨確認した。

4 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等 (※3月31日23:59時点、保健省発表)

ア 感染者累計：1,091,063名
イ 死亡者数：8,510名
ウ 退院者数：1,078,875名
エ 自国帰国者数：57名
オ 国外搬送者数：2名
カ 入院中：3,619名 (うち、危篤9名、重篤24名)

(2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合 (※4月3日時点、保健省発表)

緊急接種の許可が付与されているキューバ国産ワクチンの①アブダラ (3回接種型)、②ソベラナ2、ソベラナプラス (ソベラナ2を2回、ソベラナプラスを1回の3回接種型、またはワクチン未接種で感染した人はソベラナプラスのみの1回型) の合計35,454,776回接種が行われ、人口の89.5%が接種完了。

ア 第1回接種終了 10,637,352名
イ 第2回接種終了 9,393,262名
ウ 第3回接種終了 9,076,665名
エ 接種完了人数 (3回接種終了者及び感染者でソベラナプラス接種者の合計) :
9,917,220 (全人口の89.5%)
オ ブースター接種終了 6,346,854名

(了)